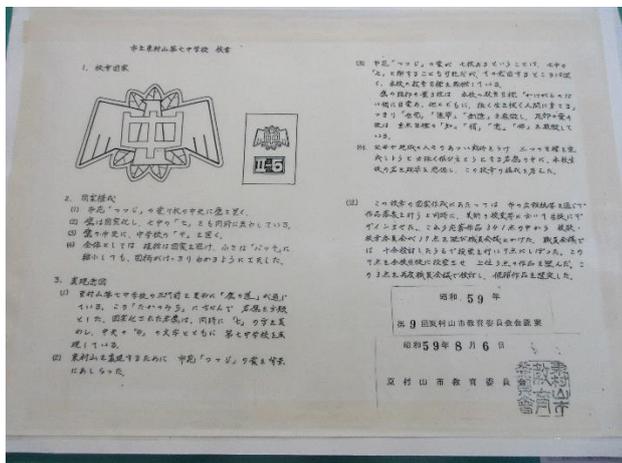




七中ウィークリーレポート

R7.05.09
毎週末発行
東村山第七中学校

1 5月7日は開校記念日



本校は、東村山市の生徒数増加に伴う大規模校解消を目的として、市内7番目の中学校として昭和59年2月に設立が認可されました。その年の4月、始業式は、当時主に東村山第一中学校、東村山第三中学校、東村山第五中学校の2年生を中心に、234名の転入生を迎えて実施され、記念すべき第1回入学式は、244名の新入生を迎えて、生徒合計478名でスタートしたそうです。令和7年度の全校生徒数は404名（5月1日現在）ですので、当時の2学年分の生徒数が今年度3学年分の生徒数を大きく上回っていたということですね。

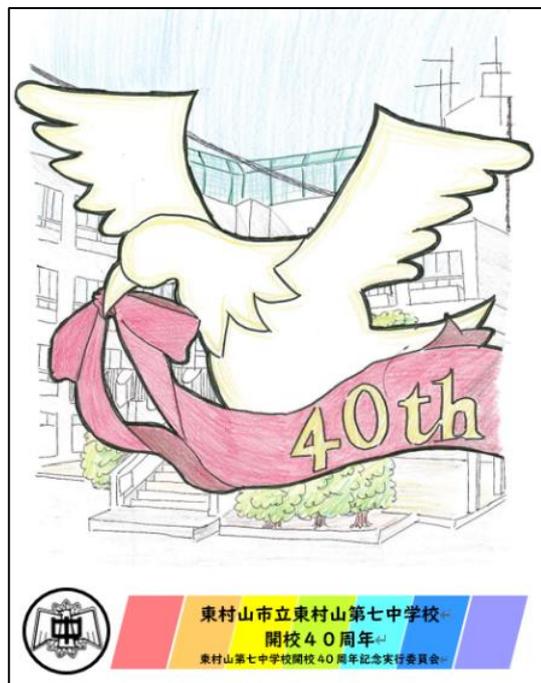
上の写真は、開校して間もなく制定された「東村山第七中学校の校章」について、東村山市教育委員会から認可を受けた際の証明書（写）です。実は校長室にずっと飾ってあるものです。

本校の校章は、市花ツツジの葉七枚を背景にして東村山市の学校を表し、学校前を通る「鷹の道」にちなんだ若鷹と、中学校を表す「中」の字が中央に配置されています。頭部のツツジの葉三葉は開校当時の学校教育目標である「自覚」「連帯」「創造」を表し、下部の四葉は重点目標の「知」「情」「意」「体」を表現しています。

校章の図案作成に当たっては、市の広報誌等を通じて作品募集を行うと同時に、美術科の授業等において当時の生徒がデザインをしました。これら応募作品341点の中から検討委員会や全校生徒による投票などいくつかの選考を経て決定されました。

昨年度は、「開校40周年記念」ということで、右写真の図案の「記念クリアファイル」を記念品として作成しました。こちらの図案作成も、昨年度の七中生が応募してくれた作品の中から、全校生徒の投票により決定したものです。

40年以上の歴史を紡いできた七中。今後も伝統を引き継ぎつつ、本校の教育活動の発展に努めていきたいと思います。



2 運動会の取組開始



5月24日（土）の本番に向けて、連休前後から運動会の取組が始まっています。左の写真は運動会実行委員がクラス旗の確認をしている様子です。保健体育科の授業等でも、団体種目に関連する取組や練習が始まっており、「イチ！ニイ！イチ！ニイ！」とみんなで掛け声をかけてムカデの練習をする姿が見られるようになりました。